



給食だより 11月号

助任小学校

11月23日は「勤労感謝の日」です。私たちの食生活は、自然の恵みと、多くの人々の働きによって支えられています。この機会に、食べ物大切さや、食事に関わった方に対して感謝の気持ちを表す方法などについて話し合ってみませんか。

～感謝の気持ちを表す「いただきます」と「ごちそうさま」～

「いただきます」

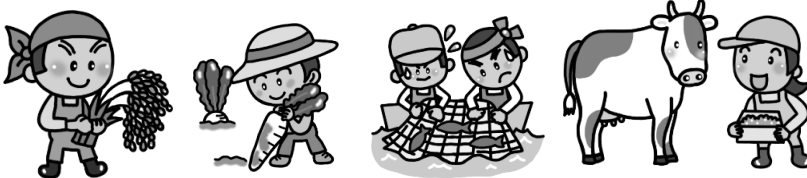
「いただく」は、漢字で「頂(戴)く」と書きます。大切なものを頭の上(頂)に上げて受け取ることからきています。「いただきます」というあいさつは、動植物の大切な命を頂くことへの感謝と、多くの人たちの支えて食事ができることへの感謝の気持ちが込められています。

「ごちそうさま」

「ごちそうさま」は、漢字で「ご馳走様」と書きます。「馳走」とは、「駆け走る」という意味があります。「ごちそうさま」というあいさつは、人をもてなすために駆け回って材料を集め、食事の準備をしてくださった人たちの苦労を労い、感謝する気持ちが込められています。

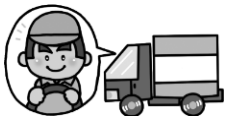
給食ができるまでに、たくさんの方が関わっています。

○農家、酪農家、漁師の方々



米や野菜を作ったり、魚をとったり、牛や豚、にわとりを育ててくれたりしています。

○食べ物を運ぶ人



冷たい牛乳や、徳島市学校給食会で炊いた温かいごはんを運んでくれています。

○お店の人



新鮮で安心安全な食材を選び、納品してくれます。

○給食を作る人

栄養バランスの良い献立を考えてくれる栄養教諭(学校栄養職員)や、おいしい給食を作ってくれる調理員の先生がいます。



○給食当番のみなさん

給食当番のみなさんが、教室に安全に運び、人数分につき分けてくれています。

